



100歳の笑顔

石本エマさん

石本エマさん(小矢戸)は明治11年11月26日生まれで、11月には満100歳になる市内の最高齢者です。

山が好きで、つい最近も薬草を採りに行ってきた達者ぶり。

朝7時に起きて夜8時に寝るまで

じっとしていることがなく、天気の良い日は畑や庭の草取りに余念がありません。

耳は少し遠くなりましたが、目の方はメガネなしで針の穴が見え、雨の日には農事用の布袋を作ったり、

自分の縫い物をするのが日課になっています。

長寿の秘けつを聞きますと「ぜいたくな物を食べず、仕事をよくし、くよくよしないこと」と血色のいい笑顔で話していました。

いきいき生きる

青春

いまこそ



毎日午前5時から
街角で絵画に励む
吉田さん

年はとつても「いまこそ青春」と仕事に、趣味に、社会活動に多くのお年寄りが力いっぱい、いきいきと生活しておられます。この中の4人のおじいちゃん、おばあさんを訪ねてお話を聞いてみました。

機に、家族の勧めもあり「自分の好きな油絵をやろう」と決意し、5年前から本格的に始めました。

腕はめきめき上達し、昨年は「山」をテーマにした「奥越の晩春」が見事県美展に入選しました。

「ことしも県美展を目指し、来年からは中央展へ出品したい」吉田さんの絵画への激しい情熱は尽きるところがありません。

県美展めざし「建物」描く

楽しいキャンパスとの対話

街角の画家

吉田さんが街角で絵を描き始めるのは午前5時。和らいだ太陽の光に浮き出る街並みを、軽快なタッチでキャンパスに描いていきます。

「ことしは建物をテーマに勉強をしています、毎日描いていますと建物がいちいちと語ってくれます。

本当に楽しいですよ」吉田さんの目はキラリと光り、やがて街角に新聞・牛乳配達の人、一番列車での通勤者などの往来が増え、毎朝見かける吉田さんに「おはようございます」と声をかけていく人もあります。

朝の6時半には1日の作業を終え50号の大きなキャンパスや道具をまとめて帰宅します。

子供のころから絵が好きで、常々趣味として生かしていきたいとおしてきました。しかし、家庭の都合や仕事の関係で思いのままにはならず、余暇をみては水彩画を描いて

スマイル

「100歳の笑顔」

あやかりたい

——スマイル

吉田貞三さん (70歳 要町)

ていました。

10年前に肝臓の大病を患ったのを

クラブは若返りのオアシス

仲間づくり 勉強共にしよう

老人活動の中核

「年金はもらえるし、医療は無料だし本当にありがたい世の中になりましたねえ。それだけに年寄りには社会に甘えちゃいかんと思います」開口一番老人の生きがい論が飛び出す。

永森さんは昭和47年から小山福寿会（老人クラブ）会長さらに昭和48年から大野市老人クラブ連合会会長を務める老人活動のリーダーです。

小山福寿会では会員の和づくりのために「福寿農園」を提唱し「会員が共に汗する」農園作業の活動を進めてきました。

ジャガ芋、サツマ芋、ソバ

永森孝治さん (77歳 新庄)

などを作り、幼稚園・保育園、小学校児童に収穫の喜びを味わせ、関係者から感謝されてきました。「年



福寿農園で会員と共に汗する永森さん

「寄りには大きな生産力はないが、心尽くしのものを社会に還元する余裕と力がありますよ。老人が社会に還元出来るものは何か、これを見つけて出して実行することが年寄りの務めです」と力説しています。

にはまず健康、次いで社会に遅れないことが大切で、高齢者教室での勉強や老人クラブでの仲間づくりが、私たち年寄りの若返りのオアシスになっているんだと思います。毎日忙しいので年をとる暇がありません。ありがたいことです」と快活に笑っていました。

朝市七十年 「売ればよい」では売れない 人と交わり身も心も健康



計算はすべて暗算する長谷川さん

け化学肥料や消毒薬を使いへん。このことを町の人はよく知っていなはるんで、買ってोकんぬすにやろ」と話しています。

朝市は昔から新鮮で安い野菜が売られ、町の人と農村の人の温かい交流の場所になってきました。

「売ればよい、という心を持たなければ売れる」これがとみさんの信念で、七・八品の金の計算は即座に暗算ですという若い者顔負けの達者ぶり。「朝市のおかげで身も心も健康、それに金にも不自由しえへんし体の続く限りこれからも朝市に出えす」はかりを見るときさんの目は輝いていました。

長谷川とみさん (81歳 中荒井1)

とみさんは朝市に出る農家の人たちの中の最高齢者で、12歳から現在までの約70年間を朝市と共に生きてきました。

3月下旬から12月上旬までの間、朝市に出す野菜を計画的に栽培し、それを毎朝収穫して売りに出ます。

朝市仲間からは「品物を一番上手に売るおばあさん」と敬慕されていますが、その秘けつについて「一度家から売りに出した野菜は二度と持って帰れへんし、作物には出来るだ

1日1足を丹念に
作る正津さん

ゲター筋

正津正吉さん
(76歳 明倫町)



履き心地のよさ求め65年

手作りの技法守る

日本人の生活に切っても切れなかったゲタも、クツやサンダルに押されて使用する機会が少なくなりました。大野で昭和の初期には60人以上

いたゲタ作りの職人も今では二・三人になってしまいました。

正津さんはその中の最古参で、12歳で年俵奉公に入って以来64年間ゲタ作り一筋に生きてきました。

「ゲタの良さは履いたときの心地良さでっしゅろ。今でも和装には必要ですし、8月の盆踊りにはよう出えた。でも手作りでしゅろ、一足作るのに約1日かかるんで、とても量産はでけへん」材料のキリ（桐）を丹念に削る姿にはいかにも年寄りの深さを感じられ、一種の風格さえ漂っています。「最近ではキリが少なくなておの。いい材料がなかなか手に入らんのです」とチョッピリ寂しそう。

60歳の時右目を患い、その目はほとんど見えなくなったのですが「左目と腕さえあればゲタ作りは続けられる」とその後もがんばりとおしました。

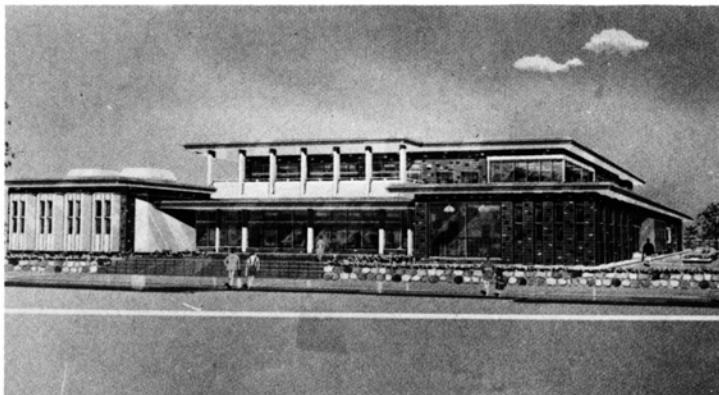
店先に並べられている美しいゲタは、実用品というよりもむしろ民芸品というべきで、「お客さんの中には海外への土産に持って行く人もあります」とうれしそうに話していました。

「需要は少なくなりましたが、ゲタが全然使われなくなる時代はないでっしゅろ。体が続く限りゲタ作りを続け、この灯を消さないようにしたいもんです」と、きょうも元気に仕事に励んでいます。

安らぎのある生活のために
 こんなお手伝いしています

永い間社会のために働いてこられたお年寄りが楽しく、心配のない生活を送っていただくことは市民みんなの願いです。このためには、心の安らぎが得られる家庭や地域社会、それにきめ細かい福祉行政がなければなりません。市では現在次のことを計画し、実施して、お年寄りの幸せづくりのお手伝いをしています。

お年寄りと市政



老人福祉センターの完成予想図

老人福祉センターを建設

1億5,000万円かけ、来年4月オープン

お年寄りの安らぎと健康を増進する場として、市は近く「老人福祉センター」を建設することになりました。亀山の西側、赤根川沿いの「老人憩いの広場」の横、1,371平方メートルの地に1億5,000万円で鉄筋コンクリート2階建て延1,057平方メートルの建物を造ります。

1階には集会場、機能回復訓練室、浴室、事務室、2階には教養室、娯楽室、茶室、図書室、研修室、保健室などを設け、お年寄りがいつでもこのセンターを訪れ、囲碁、将棋、読書、入浴を楽しんだり、茶道、書道、絵画などの趣味を生かすことができます。

屋外に出れば老人憩いの広場の散策や手入れ、それに赤根川のせせらぎを聞きながら亀山や砂山への散歩が楽しめ、ほとんど年間をとおして

お年寄りの方に利用いただける施設になります。

9月市議会で建設に必要な予算が可決されますと、さっそう建設工事に着工し、昭和54年3月完成、4月オープンを目指しています。

多田清氏が8,000万円寄付

このセンター建設に当たっては、大阪相互タクシー株式会社社長多田清氏から8,000万円の寄付をいただきました。



多田社長は明治38年7月勝山市荒土町新保に生まれ大阪でタクシーの運転手をされた後昭和6年大阪相互タクシーを創業、

現在全国有数の大手会社を築かれました。

常に利益の社会還元を信条としてこれまでに災害義援、老人、福祉、教育などの多方面に多額の寄付をされています。



「老人憩いの広場」から見た「老人福祉センター」の敷地

お年寄りと市政

勉強は高齢者学級で

学びたい、新しい知識を得たいというお年寄りの学習の場として、市は70万円の高齢者学級費をもち、各公民館ごとに学級を開いています。

各地区で敬老会

お年寄りを敬い、ますます健康で生活されることを願って各公民館単位に敬老会が行われています。

市はこの費用として、ことし 207 万円を計上しています。

老人クラブに助成

市内には現在67の老人クラブと1連合会があり、お年寄りの教養や健康、レクリエーションなどの事業がどしどし行われています。

このクラブ活動が円滑に出来るよ

年金は暮らしの保障

未加入者は早く手続きを

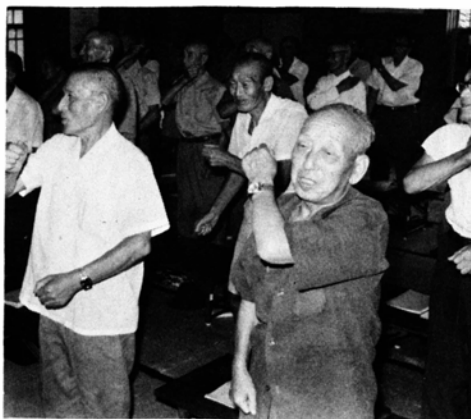
国民年金は、外の年金制度に加入出来ない農業や商業などの自営業者



が20～59歳の間掛金をして、老後に年金の支給を受ける制度です。

この制度の特徴は、サラリーマンの奥さんも希望によって加入出来、手続きは印鑑を持参になれば市民課で簡単に出来ることです。

年金は加入した後、最低25年の掛金をして65歳になると支給される老



なごやかに健康体操をする高齢者学級生
(下庄公民館で)

う、市はことし約 400万円を補助しています。

医療費は無料

お年寄りの医療負担をなくするため、昭和48年から老人医療費の無料化を実施しています。対象者は、70

歳年金、一家の働き手を失ったときに支給される母子・準母子・寡婦年金、この外障害・遺

児年金、死亡一時金などがあります。国民年金制度が出来たとき既に老齢(明治44年4月1日以前に生まれた人)であったり、障害があったり母子家庭であった方には福祉年金が支給されています。

現在市内での加入者は1万 1,919人で、年間の掛金総額は3億 3,700万円、それに対して年金を受けている人は提出制・福祉年金を合わせて5,663人で、年金総額は11億 4,697万円になっています。

掛金は月 2,730円ですが、400円を上積みすると将来割増しの年金を受ける制度があります。

該当者でまだ加入しておられない方は、老後の生活保障のため、今すぐ加入しましょう。

歳以上のお年寄りと65歳以上の寝たきりの人で、一定所得以内の人には㊦の老人医療費受給者証、一定所得以上の人には㊧の大野市高齢者医療費受給資格証をお渡ししてあります。

㊦は国の制度として全国どここの市町村でも行われていますが、㊧は一定所得以上の人にもお年寄りの福祉を拡大する意味で、大野市が単独に行っている事業です。

ですから、㊧の方は医療費を一たん自分で支払っていただき、その金額

を市に請求してもらう方法がとられています。

ことし市はこの医療費無料化のため、2億 2,492万円の予算をもっています。

家庭奉仕員を派遣

共かせぎのため、老人の養護に手がまわらない家庭には、老人家庭奉仕員を派遣して1週間に2日、身の回りの世話をします。

必要な家庭は地区の民生委員さんにご相談下さい。

健康診断にどうぞ

7月25日～10月31日の毎週火～金曜日午前10時～正午の間、65歳以上の方を対象に、市内の内科医療機関で無料老人健康診査を行っています。

診査は尿の検査、血圧測定、問診、血色素測定などで、既に対象者にははがき(通知書)でお知らせしてあります。診査を受けられるときは必ず通知書をお持ち下さい。

白内障の手術に補助

開眼手術が可能な65歳以上の方に治療費のうち自己負担分を補助しています。

山ヶ鼻古墳群発掘

5号墳で木棺跡確認

4世紀末、豪族の存在を立証

7月22日から市教委と県教委の手で発掘調査が進められていた山ヶ鼻古墳群（16基）中の第5号墳から、

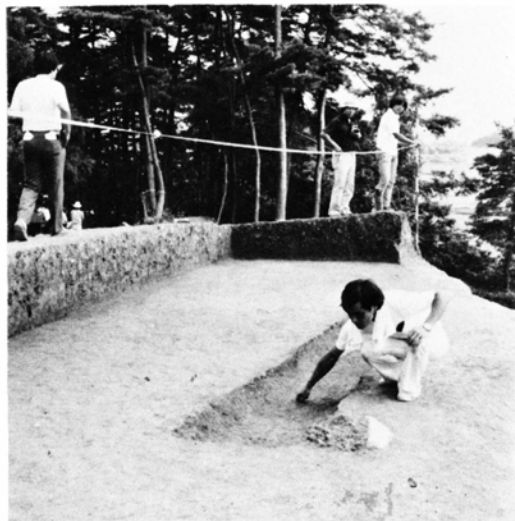


出土した副葬品の短剣と矢じり

8月15日に木棺跡が確認され、副葬品として短剣と矢じりが1本ずつ見つかりました。

この古墳が造られたのは松岡町の手繰

ヶ城古墳や敦賀市の立洞2号墳などと同じ時代の4世紀末ごろと推定され、大野盆地にある128基の古墳の中で一番大きく、しかもただ1つの前方後円墳である



棺跡の調査をする県文化課調査員

ところから、当時奥越地方を支配していた豪族の墓であることがほぼ確実になりました。

棺跡は頂から約1メートル掘り下げた所で発見、棺は木製のため形はなく、遺骨も既に風化して残っていませんでした。

棺の作り方は「割竹形木棺」と呼ばれ、竹を2つに割ったように木をくりぬいてふたと底が作られ、長さ4.4メートル、幅は北側（被埋葬者の頭の方）が64センチ、南側（同者の足の方）が46センチです。

副葬品の短剣は鉄製で長さ35センチ、幅3センチ、矢じりは長さ7.5センチ、幅2センチでいずれも赤くさび、辛うじて原形をとどめています。

北陸地方では2基目 帆立貝形前方後円墳

この前方後円墳の大きさは、前方部の長さ10メートル、幅は広い所が9.2メートル、狭い所が5.5メートル、後円部の直径が21メートルで全長は31メートルあり、後円部に比べて前方部が小さい「帆立貝形前方後円墳」と呼ばれ、北陸地方では敦賀市の立洞2号墳が確認されているだけです。

この調査から、当時の豪族の勢力関係など、奥越地方の古代史をひもどく貴重な資料を得ることが出来ました。



⑥ 阿難祖

赤根川の上流にある阿難祖は、森政、平沢と同じように地頭方と領家に分れています。

地頭は守護に属して荘園をおさめ、税を取り立てた職名であり、領家は荘園の所有者です。

現在、両方の集落にはそれぞれ約30戸ありますが、地頭方の田畑は、ほとんどが越坂を通過して木本にあるため、昔から難儀をしており、長寿者が領家より地頭方に少ないのも、そのためだといわれています。

阿難祖は、昔行者が集落の南の谷にあるあなにもったことから穴僧と呼ばれ、応安2年（1369）に聖譽律師が、阿難祖谷に大宝寺を創建した後、このがんくつの中から石の箱を掘り出し、阿難尊者の画像を手にしたので、それより阿難祖と呼ばれるようになったと



いう説があります。

集落の手前には、牛頭（ごず）天王をまつる小さな建物がありますが、明治時代にコレラが流行したとき、阿難祖だけはその信仰のおかげで、一人の罹病者も出なかったといわれています。昔は養蚕が盛んで桑畑も多かったそうですが、現在は、山菜採りの人たちがたくさん訪れています。

市街地から竹林の多い下舌、上舌を通過して阿難祖に至る道は、交通量も少なくサイクリングには最適なコースといえます。（T生）

乾側小・幼稚園改築工事進む

校舎は来年2月完成

老朽化した乾側小学校舎の改築工事が、7月7日から同校敷地内で進められています。

来年2月末完成、3月から新校舎で授業する計画になっています。



基礎コンクリート打ちを終えた乾側小建設工事

総工費は1億3,080万円、木造2階建て延1,663平方メートルで、普通教室6室と、家庭・理科・図工・図書・音楽視聴覚の6つの特別教室が造られます。この工事と並行して、同校

の南側では、乾側幼稚園の改築工事が行われており、1,940万円で木造平屋285平方メートル、2教室と1遊戯室が建設されます。12月中旬に完成、来年1月から新しい園舎が使用出来る予定です。

今月の納税
保険税、国民年金保険料
第2期分
30日までに納めて下さい

名)を最寄りの公民館または市教育委員会社会教育課へご連絡下さい。

〈テーマの意味するもの〉

伝統は長い歴史の中で培われ、いきいきと私たちに語りかけてくれる。

この美しい、力強い伝統に触れるとき、われわれは現代に生きる喜びを覚える。

豊かな心、生きる喜びが創作意欲を高め、すばらしい未来を開く原動力となる。

生活用品交換

〈譲ります〉 幼児用ベット、コンビラック(2台)、シングルベッド(2台)、男子用自転車、バイク(ヤマハミニトレ)、電気ストーブ(赤外線 600W)、電気冷蔵庫

お知らせ

市職員の採用試験

市職員を次のとおり募集します。
〈採用予定人員〉 事務職男子3人、女子2人
〈受験資格〉 昭和30年4月2日～昭和36年4月1日に生まれた者
〈試験〉 第一次試験10月29日(日) 勝山精華高校
第二次試験11月下旬
〈受付期間〉 9月28日～10月7日
〈申し込み方法〉 申込書(市役所庶務課にある)に写真(上半身脱帽、正面向き縦6センチ×横4センチで6カ月以内に写したもの)を張って提出

暮らしのアイデア作文募集

経済企画庁は、暮らしの中で資源やエネルギーを大切に使うためのアイデア作文を募集しています。
〈題目〉 自由ですが、内容としては「限られたものを大切に使

う」「出来るだけ捨てない」「生かして使う」「使い終わったものなるべく工夫して活用する」

〈原稿〉 横書き 400字詰め原稿用紙5枚以内。必ずとじて末尾に氏名、住所、郵便番号、年齢、職業、電話番号を明記

〈締め切り〉 9月30日(土)

〈送り先〉 910 福井市月見5-4-23 福井県生活環境部県民生活課 へて

〈入選〉 地方入選5編、この内3編を中央審査に推薦。地方入選は10月27日の「省資源福井県民大会」で表彰

文化祭の出演、出品受け付け

「伝統とのふれあい、創作への意欲」のテーマに沿った文化祭への出演並びに作品を募集しています。

出演部門は歌・演劇・踊り・演奏その他の芸能、展示部門は絵画・書道・デザイン・工芸・写真その他です。出演、出品希望者は9月30日までに氏名、住所、種目、題名(作品



木製両そで机、木製片そで座机、幼児用自転車補助いす、ガラス陳列ケース、石灯ろう、婦人用自転車

〈譲って下さい〉 ベッド(セミダブル)、オルガン、婦人用自転車、テープレコーダー、応接セット、げた箱、小学生用科学図鑑、男子子供用自転車、ベビーチェア、ステレオアンプ、婦人用ミニ自転車、スチール製陳列棚

〈これまでの成立件数〉 19件

品物を譲りたい人、譲ってほしい人は、市生活環境課(6-1111内線224)へご連絡下さい。

市民カレンダー

9月10日～24日

10日	健康大学	9.30～11.30	市役所		
11月	法律相談 交通事故相談	13.30～16.00 10.00～15.00	商工会議所 市役所	成人病検診 9.30～11.00 13.30～15.00	大野保健所
12火	社会保険、年金相談 成人病検診	13.00～15.00 9.30～11.00	大野織物組合 春日児童館	行政相談 10.00～15.00	大野公民館
13水				まちをきれいに 	
14木	心配ごと相談	9.00～12.00	市役所		
15金	敬老の日 大野地区敬老会	13.00～16.00	市民会館		
16土					
17日	家庭の日				
18月	人権相談 税務相談	13.00～16.00 10.00～16.00	大野公民館 商工会議所	経理相談 9.00～16.00	商工会議所
19火	1歳半児検診	13.30～14.30	有終会館		
20水	結婚相談 労働相談	10.00～15.30 13.30～16.00	有終会館 商工会議所	家庭児童相談 月～金曜日 8.30～17.00 土曜日 8.30～12.00 市役所	
21木	心配ごと相談	9.00～12.00	市役所		
22金	献 血	10.00～15.00	市役所		
23土	秋分の日				
24日	市民弓道大会 健康大学	19.30～21.30 9.30～11.30	市営弓道場 市役所		

和園がある。

D 生

ホームとがあり、前者は病弱者、後者は一応健康な老人の利用する施設である▼従来老人ホームと言えば、終生をそこで過ごすという終生収容保護といった感じが強かった。また、施設自体もそうした運営を続けて来た▼ところが最近、ホームの運営の在り方が変わって来た。それは終生保護といったことだけでなく、短期的に施設を利用してもらおうというわけだ▼例えば寝たきりのお年寄りを家に置いて、二、三日出かけなければならぬ場合、その間だけホームへお年寄りを預けるといふもの。保育所のように、朝お年寄りをホームに預け夕方家庭に引き取って行くというケース。また、一人暮らしのお年寄りで、自炊するのが重荷と思われる方は、三度の食事だけホームで食べることで出て来る▼こうした利用法により、ホームは地域社会の人たちから親しまれ、そこにとけ込むことが出来、福祉資源として大いに活用されることになる。もちろんこれには実費が伴うが、詳細はホームの方に直接聞かれるとよい▼ホームを利用することがお年寄りにも、その家族の方にとってもためになるケースがある。十五日は「敬老の日」敬まられる方も、敬まう方も相手の立場を考え、幸福を見つきたい。篠座に老人ホーム和光園・聖



老人福祉対策の一つを担うものとして老人ホームがある。これには特別養護老人ホームと養護老人ホームとがあり、前者は病弱者、後者は一応健康な老人の利用する施設である▼従来老人ホームと言えば、終生をそこで過ごすという終生収容保護といった感じが強かった。また、施設自体もそうした運営を続けて来た▼ところが最近、ホームの運営の在り方が変わって来た。それは終生保護といったことだけでなく、短期的に施設を利用してもらおうというわけだ▼例えば寝たきりのお年寄りを家に置いて、二、三日出かけなければならぬ場合、その間だけホームへお年寄りを預けるといふもの。保育所のように、朝お年寄りをホームに預け夕方家庭に引き取って行くというケース。また、一人暮らしのお年寄りで、自炊するのが重荷と思われる方は、三度の食事だけホームで食べることで出て来る▼こうした利用法により、ホームは地域社会の人たちから親しまれ、そこにとけ込むことが出来、福祉資源として大いに活用されることになる。もちろんこれには実費が伴うが、詳細はホームの方に直接聞かれるとよい▼ホームを利用することがお年寄りにも、その家族の方にとってもためになるケースがある。十五日は「敬老の日」敬まられる方も、敬まう方も相手の立場を考え、幸福を見つきたい。篠座に老人ホーム和光園・聖